

## 大学コンソーシアムひょうご神戸

### 子育て支援に関するシンポジウム

平成23年10月21日(金)神戸女子大学三宮キャンパス(神戸女子大学教育センター)にて大学コンソーシアムひょうご神戸 研修交流委員会主催による子育て支援に関するシンポジウムが開催され、約100名の参加者がありました。テーマは「子育てと子育てに求められる生活環境を考える」でした。文学部教育学科の大橋 喜美子教授がコーディネーターを務めました。現状と課題、子どもにとってのより良い生活環境、家庭生活や保育・教育、支援の方法についてシンポジストの発表がありました。参加者からの質問に、研究者の立場に加えて保育の現場を熟知しているシンポジストならではの貴重な回答がありました。

### 大学コンソーシアムひょうご神戸設立5周年事業 震災と復興に関するセミナー

#### 震災を契機に生まれた学生ボランティアグループの活動

##### —震災にどう立ち向かい、震災からいかに復興していくか—



郡山女子大学  
庄司 一郎教授

平成23年11月19日(土)神戸女子大学では、大学コンソーシアムひょうご神戸設立5周年事業の一環として、震災と復興に関するセミナー「震災を契機に生まれた学生ボランティアグループの活動—震災にどう立ち向かい、震災からいかに復興していくか—」を開催しました。

最初に、甚大な被害を受けた被災地、福島県の郡山女子大学家政学教授の庄司 一郎先生に、被災地の復興と再生についての講演をしていただきました。

本学園の「V-net(注1)」は、キャンパスをとおして災害時の調理体験や保存食品だけでつくれるレシピ集を作成するなど独自の活動もしています。そのボランティア活動について学生が発表しました。続いて「V-net+(注2)」が「神戸ふれあいフェスティバル」でも販売した「いも煮カレー」の試食が行われました。(注1、2・・・本誌14ページ参照)

最後に、阪神・淡路大震災を契機に災害時に必要な知識と役立つ力を身につけることを目的に兵庫県内の栄養士を養成する大学・短期大学などで結成された「V-net」の設立に深く関わった神戸女子短期大学の森下 敏子名誉教授より当時の体験と今後の支援についての講演がありました。



神戸女子短期大学  
森下 敏子名誉教授

### 東日本大震災による被災地支援ボランティア

大学コンソーシアムひょうご神戸では、神戸市社会福祉協議会などの主催する東日本大震災被災地支援「夏休み学生ボランティアバス」に協力し、宮城県名取市、気仙沼市でのボランティア活動を行いました。応急仮設住宅などに入居された方々の自立的復興に向けた支援を応援することを目的とするものです。神戸女子大学では、9名の学生と職員1名が参加しました。

## ポーアイ4大学による連携事業

### 「ポーアイ4大学総合防災訓練」—巨大災害への初動対応—

平成23年10月15日(土)時折小雨がぱらつく中、神戸市水上消防署と兵庫県神戸水上警察署のご協力を得てポーアイ4大学連携推進センターの主催で総合防災訓練を実施しました。

今回は東日本大震災を受けて、津波への対策が加えられました。

ポートアイランドキャンパスで13時30分、緊急地震速報のテスト放送を受け、学生、大学波田学長、短期大学長瀬学長、教職員が神戸学院大学へ移動して、避難訓練を行いました。その後グループ講習が行われ警察署、消防署の機材展示や放水訓練を見学しました。

その後、津波避難訓練を実施し避難時の心構えなどを聞いた後、高所からの重傷者搬送とヘリコプターを使った搬送の実演が行われ、警察署長、消防署長、そして神戸学院大学の岡田 豊基学長の講話が行われ訓練は終了しました。

最後に非常食の配布も行われ、参加した多くの学生、教職員、地域の住民の方々も訓練の大切さを実感した日となりました。

(ポーアイ4大学……神戸学院大学・神戸女子大学・兵庫医療大学・神戸女子短期大学)



避難椅子を利用したの避難訓練 消防署、ヘリコプターでの患者搬送訓練